



# 帝京大学医学部救急医学講座 救急科領域専門医研修 ダイジェスト



帝京大学医学部救急医学講座

# Responsibility of Emergency medicine in Japan



Healthcare  
system

Mobile ICU  
Doctor car  
Medical Control  
M.T.

ER

Acute care surgery  
IVR  
Damage Control  
Construction

Critical Care  
Intensive Care

# All in one を One team で



## 他科研修(6か月)

(外科・整形等3か月+  
麻酔・内視鏡・放射線科等3か月)

クリティカル  
ケアまたは  
ER研修  
(3~6か月)

ドクターヘリ・  
特殊災害研  
修  
(3か月まで)

## ER研修(9~12か月)

他科研修  
(3か月まで)  
(眼科・耳鼻  
科・小児科等)

## クリティカルケア研修(12か月)

# 具体的なプログラム(基本形)

1年次	帝京大学医学部附属病院		
	救命救急センター 6か月	総合診療 ER センター 3か月	外傷センター 3か月
2年次	連携施設		
	連携施設(帝京ちば・虎の門・練馬光が丘) 6か月	連携施設(救命救急) 3か月	連携施設(地域医療) 3か月
3年次	帝京大学医学部附属病院		
	救命救急センター・総合診療 ER センター・外傷センター 12か月		

- ※ 各年次の中のローテーション順は重複しないように専攻医毎に異なるよう配慮します。
- ※ 1年次、2年次、3年次の順は専攻医の修練の進捗状況等により入れ替わることがあります。
- ※ 2年次の連携施設の予定は基幹施設になることもありますが地域医療の3か月は必須です。
- ※ 3年次は専攻医の修練の進捗と希望により重点的に研修するセンターを選ぶことができます。
- ※ 連携施設の比重を高めたローテーションも可能ですが基幹施設の修練は最低1年間必要です。

# 臨床教育機能別病院群



- Critical Care・MC・災害時医療
  - **大学高度救命救急センター**
- Critical Care
  - 都立多摩総合医療センター
  - 横浜市立大学市民総合医療センター
- Intensive Care (General ICU)
  - 東京大学医学部附属病院
  - 公立昭和病院



- 関連領域研修
  - **大学外傷センター(整形外傷)**
  - 帝京大学千葉医療センター(IVR)
  - 公立昭和病院(重症中毒診療)
  - 日本赤十字社医療センター(産科救急)
  - 長谷川病院(精神科)
  - 東京都健康長寿医療センター(高齢者救急)
  - 虎の門病院(悪性疾患関連救急)

- ER
  - **大学総合診療・ERセンター**
  - 虎の門病院
  - 練馬光が丘病院



- 地域医療研修
  - 川口総合病院
  - 東京北医療センター
  - 板橋中央病院
  - 関東労災病院
  - 上尾中央病院
  - 相澤病院



- Prehospital medicine
  - **大学救急科(ICUmo)**
  - 日本赤十字社医療センター
  - さいたま赤十字病院
  - 横浜市立大学附属市民総合医療センター





# Q. ■■科と救急科の両方を 目指すことはできますか？

- できます。
- A1：機構は、個人の努力で複数の基本領域の専門医を取得することを認めています。
- A2：（例）「本プログラムでは、他の領域の専門医取得のための、救急科のプログラムの一時中断を認めています」
- A3：プログラム内の記載例
  - 「当プログラムは〇〇病院の■■科領域専門研修プログラムと協力しています」
  - 「本プログラムの指導医の中に■■科の指導医が×名います」



# 救急科領域専門医研修と 他科領域専門医研修

卒後  
年数

1

2

3

4

5

6

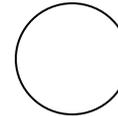
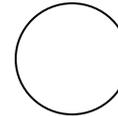
7

8

9

初期臨床研修終了

8,486人  
2009年入学



救急科



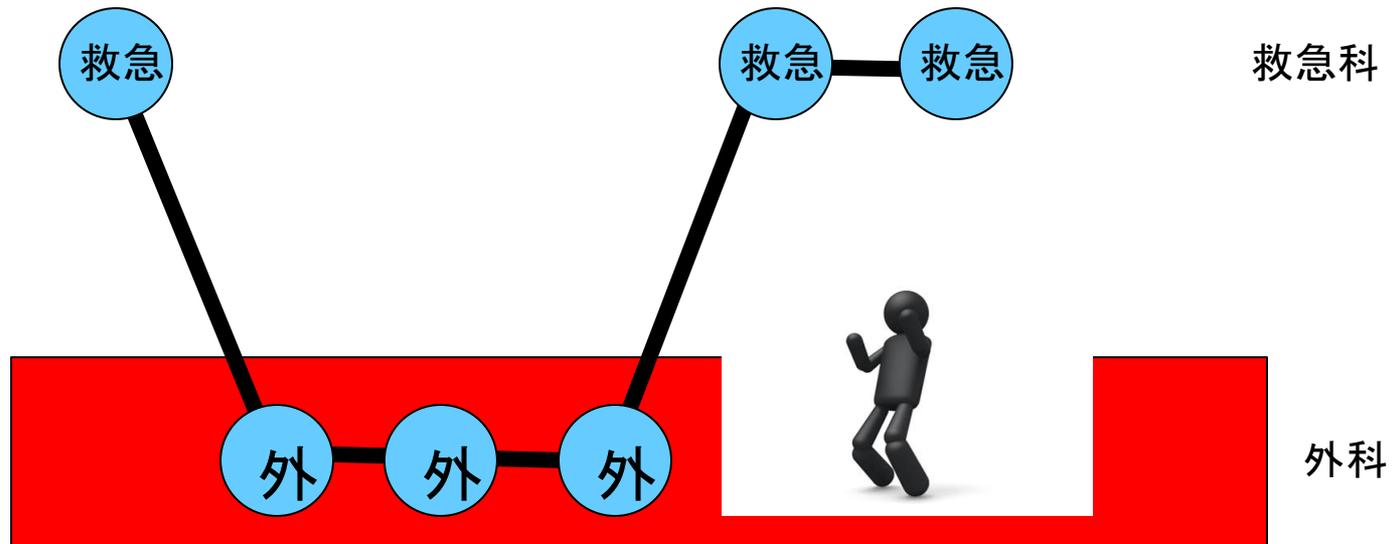
# 救急科領域専門医研修と 他科領域専門医研修

卒後  
年数

1 2 3 4 5 6 7 8 9

初期臨床研修終了

8,486人  
2009年入学





# 救急科領域専門医研修と 他科領域専門医研修

卒後  
年数

1

2

3

4

5

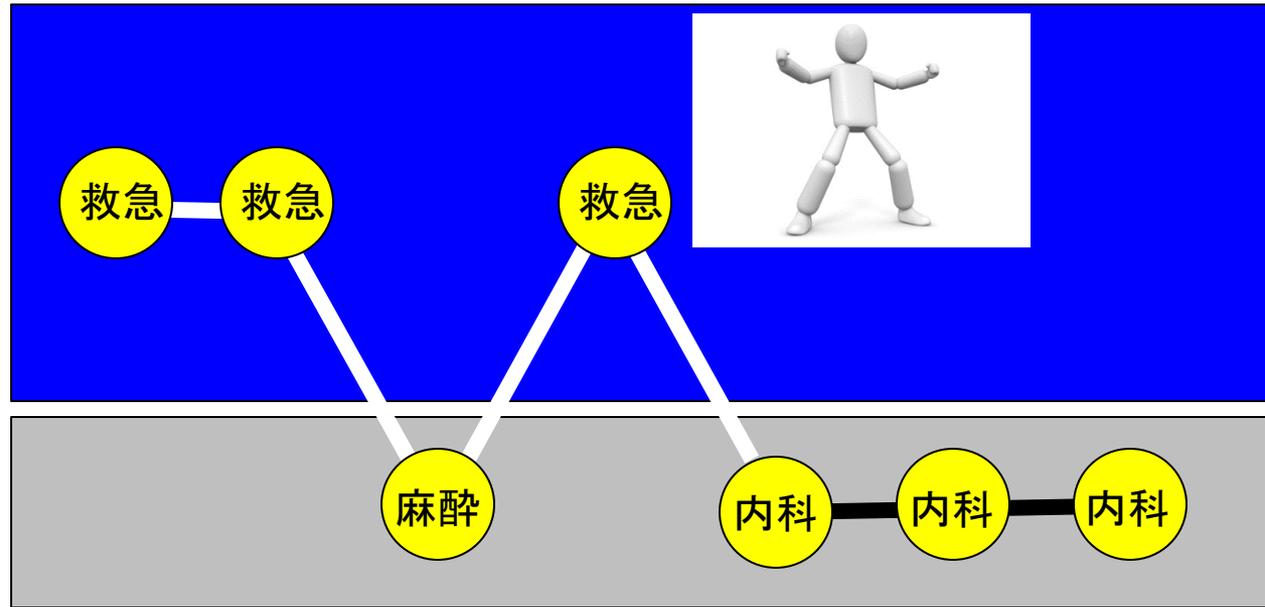
6

7

8

9

初期臨床研修終了



救急科

A科



# 帝京大学医学部救急医学教室 教室員規約

## 前文

帝京大学医学部救急医学教室（以下教室）は、教室主宰（大学講座主任教授）の下、教室員相互の連携によって、救急診療の質の向上のための方略の創造を図る組織である。

## 第一章 総則

### 第1条（名称）

本会は、帝京大学医学部救急医学教室と称する。

## 第1条（定義）

帝京大学医学部救急医学教室は、救急医療関連医療機関及び関連施設等に所属する救急科医師およびそれに準ずる常勤医・非常勤医、救急医療関連職等により構成される職能集団である。

提供するための仕組みを創出する。

### 第4条（事業）

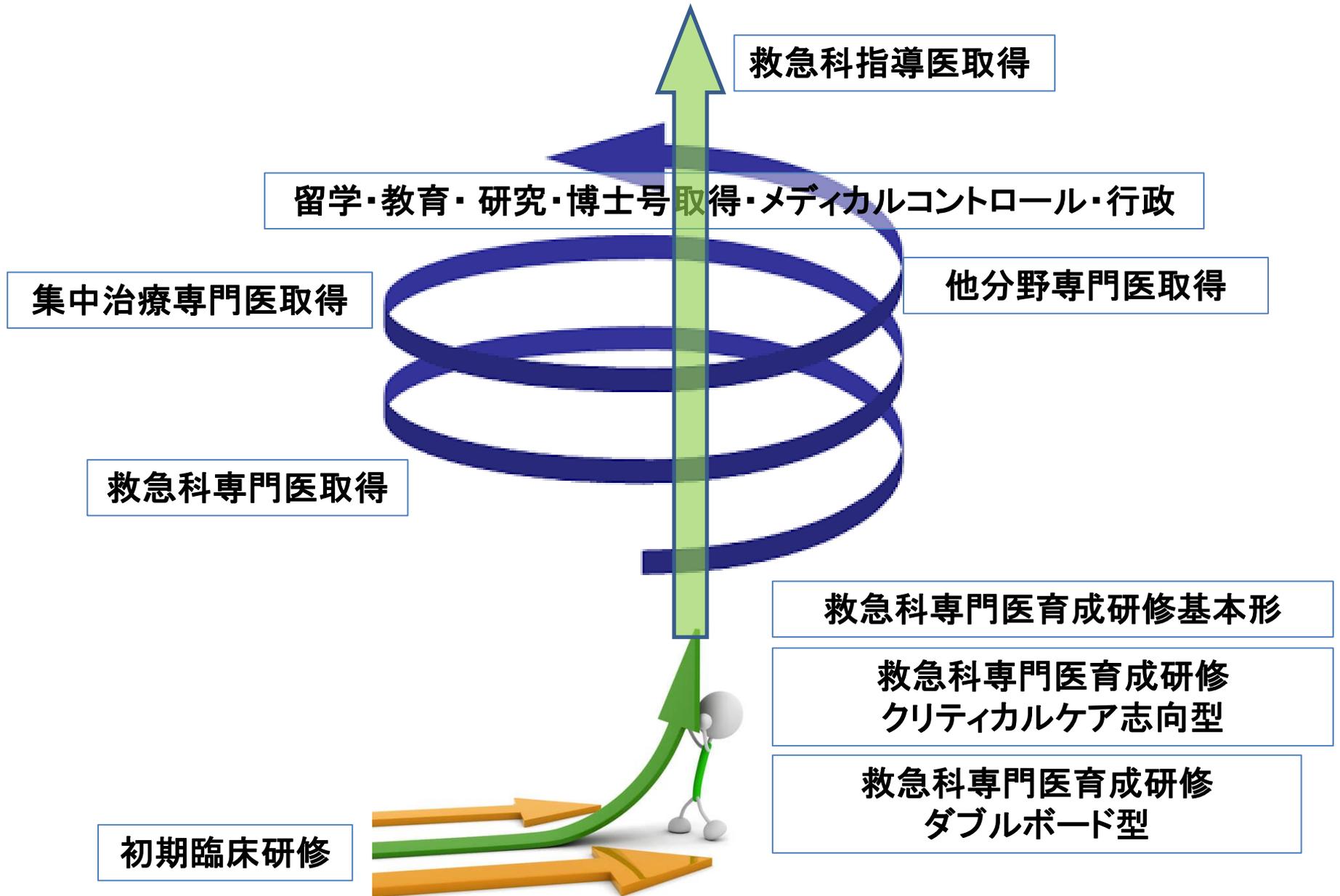
教室は目的を達成するため、以下の事業を行う。

- (1) 教室の運営方針に基づき、教室員、臨床研修医、医学生、救急隊員、看護師、その他関連職への教育に貢献する。
- (2) 教室の運営方針に基づき、救急医療に関連した知識・技術の市民啓蒙に努める。
- (3) 教室の運営方針に基づき、基礎的および臨床的な研究に貢献する。
- (4) 教室員の技能・知識の向上と多様な業務機会を得るため、積極的な人事交流を行う。

# 研究テーマ

1. 緊急度評価指標(含むトリアージ手法)に関する研究
2. 外傷診療に関する研究
3. 環境異常に伴う病態に関する研究
4. 心肺蘇生に関する研究
5. ショック予測に関する研究
6. IoTを駆使したSmart prehospital/ER/ICU体制に係る研究
7. 群衆災害に対する至適医療体制に関する研究
8. 救急医療体制の質の評価に関する研究
9. 救急医療と法と倫理に関する研究
10. 救急専門医プログラムにおけるシミュレーション教育の効果に関する研究
11. 疫学研究 JTDB、Utstein

# 私たちは皆さんの向こう10年を考えます！



# Welcome to our department!!

***"The best way to predict the future is  
to create it."*** - Peter Drucker  
The choice is up to you!!!

